

「発表の技法とモラル」・・・プレゼンテーションにおける大切なこと

4月9日(木)に前期教育研究員5名は、プレゼンテーションの基本と技法及びプレゼンテーションソフトの基本的な使い方についての理解を図るとともに、著作権や肖像権、個人情報等の保護と研究報告書作成に伴う画像処理の必要性とその方法を学び、今後の研修の充実に活かすことを目的として、沖縄県立総合教育センターの長期研修員講座「発表の技法とモラルI」を所外研修として受講しました。

【講座の概要】

「プレゼンテーションの技法」

講師：IT教育班 比嘉清喜研究主事(13:15～14:45)

◇プレゼン作成のコツ1

- ・プレゼン状況の設定
- ・ワンスライド、ワンメッセージ
- ・スライドの配色の工夫
- ・レイアウトの基本原則を守る
- ・写真やアイコンの活用
- ・タイトルの設定
- ・文字の大きさ
- ・文字形(ゴシック)

◇プレゼン作成のコツ2

- ・背景
- ・報告書との連動
- ・シンプル
- ・Cueの技法

◇コツを踏まえた上での実践(プレゼンテーションの作成)

「著作権や画像処理等について」

講師：城間健研究主事(14:55～16:30)

◇著作権について

- ・著作権とは
- ・著作権保護の例外

◇肖像権とは

◇著作権・肖像権を侵害しないために

- ・報告書等で顔写真や画像を使用する際の注意点

◇実践

- ・顔写真の修正法
- ・取り込んだ文字が見つからない際の修正法



写真1 IT教育センターにて



写真2 研修中①



写真3 研修中②

教育研究員の感想 (研修日誌から)

最初の「発表の技法」についての講義では、プレゼンテーションの作成から入ったのですが、これまでパワーポイントを作成した経験があまりなかったことから、使い方に慣れることがまず必要だと痛感しました。作成に戸惑っていると隣の古屋先生がこまめに声をかけてくださりとてもありがたかったです。講義の中で作成のポイントを学ぶことができたので、「実践あるのみ」で頑張っ習得していきたいと思います。

著作権と肖像権についての講義では、「他の人が作った物を使う時には、使っても大丈夫かな…とまず考えること」「本当にそれが必要なのか、他の物で代用できないかを考えてみること」が著作権の侵害を防ぐことにつながる、という先生の言葉が心に残りました。これから研究を進めていく上で忘れることがないようにしていきたいと思います。

(金城さくら)

今回の研修には、実践をさせて考えさせる仕組みがあったのかなと感じました。やってみて後に教えられると納得がいきました。児童への指導にも同じことがいえるのかなと感じました。また、プレゼン時に読み返しポイントを押さえたいと思います。著作権や肖像権についてあまり深く考えていなかったのですが教育現場でも注意する点をいくつか感じました。今後、報告書作成時に活用していけるようにしたいと感じました。この研修も操作活動があり、やってみて、もしくは、やりながら考えようという意味では授業につながるヒントもあるのかなと感じました。(大城厚)

私たちの研究の最終まとめは、報告書とプレゼンテーションです。自分の研究したことを他の先生方や他のクラスの子どもたちにも還元できるように伝えることが大きな仕事となるでしょう。これまでにパワーポイントは、漢字やかけ算九九の反復学習のスライド作りをしたことがあったので、操作はできました。今回新たに学んだことは、伝えたいことを「分かりやすく」「見やすく」キーワードを示すプレゼンが必要だということが実践を通して実感できました。

研究報告が最終課題になると思いますが、発信する際に「著作権」や「肖像権」の問題には避けて通れないのです。研究のためだからと、安易に他人が作ったものを使用することは、法律で禁止されています。普段の授業でも、学習プリントや資料、教材・教具を安全に適正に利用していかないといけないのです。これまで私自身、深く考えたことがなかったので、立ち止まって慎重に考えることの大切さを学びました。伝えたい・訴えたいことを「自信をもって」「笑顔」で発表できるようにしっかりまとめていきたいです。(長門照乃)

時々、授業や校務分掌の仕事でプレゼンテーションソフトを活用していましたが、発表に向けての活用ではなかったので、これを機にもう一度発表に向けてのスライド作成について学ぼうと思いました。作成の際には、聞き手の立場を考え、何が言いたいのかをしっかりと見通しを持たないといけないと感じました。また、見せる工夫も多く取り入れ、聞く人が飽きないようにしないといけないと思いました。最後にプレゼンにおける振る舞いや緊張してあがらないためのコツなどを教えて頂いたので、普段の感想スピーチにも活かしたいと思います。

モラルについては、私は思った以上に著作権や肖像権についてあまり分からないことだらけであることを痛感しました。何気なく使っているイラストや写真も、もしかしたら著作権や肖像権を侵害しているのではないかと心配になりました。これを機に、これらの使用の際には十分配慮していきたいと思います。プレゼンテーションは、写真の使い方や作り込むというよりも、人に分かりやすく伝えることを目指してつくること等を再確認しました。(具志堅智美)

今回の研修を受け、プレゼンテーションを今までにいろいろと使ってきたが、あまり文字を入れすぎない、文章を長く書かない、という点で自分のやり方を見直さないといけないと思いました。また、アニメーションの使いすぎが自分で気になるところなので、その点も伝えたいことが何なのか、相手は何を求めているのか等を考えながら作成していきたいです。

情報モラルについては、普段、学校現場で意識していた部分となんとなく過ごしてきた部分があり、見直す、いい機会となりました。いろいろな権利があり、その人(もの)を保障するためなので、コピーをする際には考えてから行っていきたいです。

今回の研修が、これからの発表や学校現場で生徒に還元できたらと思います。(古屋誠一)